

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

商品概要

| | |
|------|--|
| 商品分類 | 追加型投信/内外/資産複合 |
| 投資対象 | シェールガス関連株マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界のシェールガス関連ビジネスを展開する企業の株式に投資します。同マザーファンドでは、株式組入比率は60~100%程度で機動的に調整し、株式以外の部分は米ドル建ての好利回り債券等で安定的な収益獲得を目指します。 |
| 設定日 | 2012年8月30日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 年2回。原則、毎年2月5日および8月5日（休業日の場合は翌営業日）。 |

運用実績

| 基準価額 | |
|-------|------------|
| 基準日 | 2024年4月30日 |
| 基準価額 | 21,273 円 |
| 前月比 | +1,157 円 |
| 純資産総額 | 8.08 億円 |
| 前月比 | +0.52 億円 |

| 騰落率 | |
|------|--------|
| 1 ヶ月 | 5.8% |
| 3 ヶ月 | 20.4% |
| 6 ヶ月 | 19.1% |
| 1 年 | 43.3% |
| 3 年 | 142.7% |
| 設定来 | 284.2% |

※ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

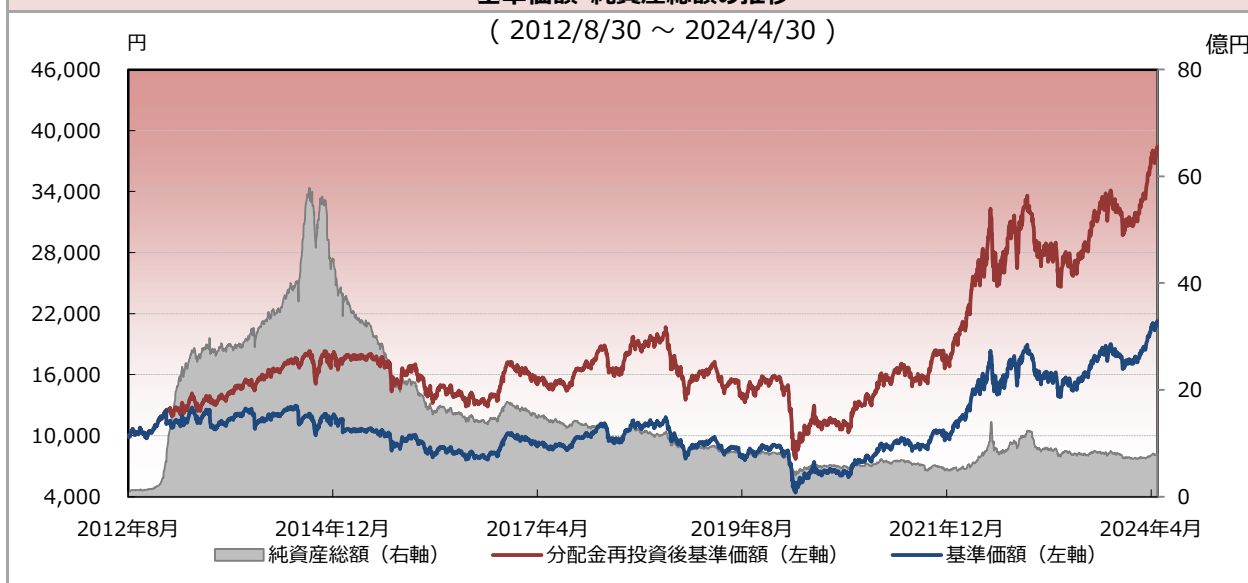
| 分配実績（1万口当たり、税引前） | | |
|------------------|-----------|---------|
| 第1期～第18期 | | 6,400 円 |
| 第19期 | 2022年2月7日 | 100 円 |
| 第20期 | 2022年8月5日 | 100 円 |
| 第21期 | 2023年2月6日 | 100 円 |
| 第22期 | 2023年8月7日 | 100 円 |
| 第23期 | 2024年2月5日 | 100 円 |
| 合計 | | 6,900 円 |

資産配分

| | 純資産比 |
|------------------|--------|
| シェールガス関連株マザーファンド | 96.4% |
| 現金・その他 | 3.6% |
| 合計 | 100.0% |

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

基準価額・純資産総額の推移



記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

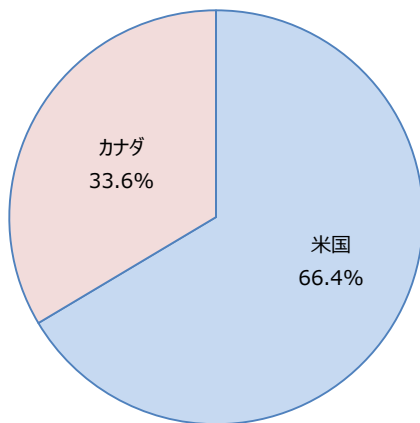
投資先：シェールガス関連株マザーファンドの運用実績

| マザーファンドの資産配分 | |
|--------------|--------|
| | 純資産比 |
| 株式 | 96.5% |
| 現金・その他 | 3.5% |
| 合計 | 100.0% |

| | |
|-------|----|
| 組入銘柄数 | 25 |
|-------|----|

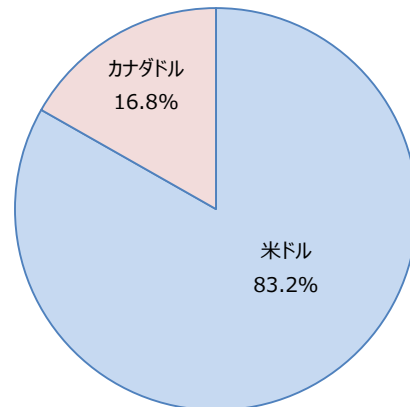
※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

国別配分



※上記の円グラフの比率は現金を除いた比率です。

通貨別配分



※上記の円グラフの比率は現金を除いた比率です。

マザーファンドの業種配分

| | 業種 | 構成比率 |
|---|--------------|--------|
| 1 | 石油・ガス探査・開発 | 41.9% |
| 2 | 総合石油・ガス | 20.9% |
| 3 | 石油・ガス精製・販売 | 13.6% |
| 4 | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 13.6% |
| 5 | 石油・ガス装置・サービス | 5.7% |
| 6 | 鉄道運輸 | 2.0% |
| 7 | 基礎化学品 | 1.2% |
| 8 | 肥料・農薬 | 1.1% |
| | 合計 | 100.0% |

組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 業種 | 構成比率 |
|----|-----------------|------------|------|
| 1 | カティオン・ナチュラリソース | 石油・ガス探査・開発 | 7.6% |
| 2 | グレイモン・バック・エナジー | 石油・ガス探査・開発 | 7.4% |
| 3 | A R C エナジー・トラスト | 石油・ガス探査・開発 | 6.9% |
| 4 | バレロ・エナジー | 石油・ガス精製・販売 | 6.3% |
| 5 | オペンティブ | 石油・ガス探査・開発 | 6.2% |
| 6 | オキシゲナル・ヘトリアム | 総合石油・ガス | 5.4% |
| 7 | エクソモービル | 総合石油・ガス | 5.2% |
| 8 | サンコア・エナジー | 総合石油・ガス | 5.0% |
| 9 | EOGリソース | 石油・ガス探査・開発 | 4.9% |
| 10 | トルマリン・オイル | 石油・ガス探査・開発 | 4.7% |

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ ポートフォリオ部分に対する評価額の割合になります。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

(ご参考) 株式指数・為替の推移

米国株式市場の推移

(2012/8/30 ~ 2024/4/30)



為替レートの推移

(2012/8/30 ~ 2024/4/30)



出所：ブルームバーグのデータを基に当社が加工して作成。

出所：投資信託協会

※2012/8/30の値を100として指数化しています。

マンスリーコメント

■ 2024年 4月の市況

4月の原油価格は下落しました。前月末1バレル=83ドル台にあったNY原油先物価格は、イスラエルによる在シリア・イラン大使館空爆や石油輸出国機構(OPEC)プラスの減産継続姿勢を理由に、月初87ドル台近辺まで上昇しました。その後は、イスラエルがパレスチナ自治区ガザからの一部撤収報道や、主要国による中東和平への外交努力等を理由に小幅に下落しました。中旬には、投機筋のポジション調整売りから83ドル割れとなった後、月末に向けてレンジ圏となり、81ドル台で終わりました。一方、前月末1百万BTU(英国熱量単位)=1.70ドル台にあったNY天然ガス先物価格は、気温予報と週間の在庫水準の動向をにらんで、月を通じてほぼレンジ圏で推移したものの、先物限月交代とテクニカルなポジション調整の影響で月末付近に上昇し、1.90ドル台で終わりました。このような中、エネルギー関連株式は月上旬には原油価格上昇に歩調を合わせて上昇したものの、その後は主要株価指数が軟調となったことで利食い売りが入り、前月比マイナスで終わりました。

○米ドル：4月末 156.90円 (前月末比 3.63%ドル高円安)

4月の円ドル相場は、円安が進行しました。前月末1ドル=151円台にあった円ドル相場は月初もみ合いの後、米国の消費者物価指数が予想を上回ったことで、152円を超えて円安が進行しました。その後も、景気堅調を示唆する米国経済指標の発表や米国金融当局による利下げ慎重発言を理由に、月半ばには154円台に達しました。その間、日本政府による円安牽制発言はあったものの円安基調に歯止めがかからず、日銀の金融政策決定会合後の会見にて植田日銀総裁が緩和継続姿勢を示したことで、月末付近には160円台を付ける場面がありました。これに対して、日本政府・日銀による円買い介入とみられる動きがあり、154円台まで急速に円高方向に振れた後、156円台で終わりました。

■ 運用状況

株式組入比率は、市場の流動性や個別銘柄の成長性を考慮しながら高位を維持しました。4月末時点での保有銘柄数は、25銘柄としました。組入比率については、石油・ガス探査・開発セクターの投資比率を41.9%、総合石油・ガスセクターの投資比率を20.9%、石油・ガス精製・販売セクターの投資比率を13.6%と、高位の投資比率を維持しました。4月末の基準価額は21,273円となりました。保有株式の株価上昇と、為替市場での円安進行が、ファンドのパフォーマンスの主要なプラス要因となりました。

■ 今後の見通し

今後のエネルギー価格の見通しについては、地政学的リスクに注目した値動きの荒い展開が予想されます。このような中、今後の運用方針につきましては、石油・ガス探査・開発セクター、総合石油・ガスセクター、石油・ガス貯蔵・輸送セクターへの投資を中心に、大きくポジションを傾けるリスクを回避して、主力企業が多い川上部門(石油・ガス探査・開発セクター)のウェイトを比較的高位に維持しつつ、状況に応じて機動的に対応していく方針です。

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

ファンドの特色

- 当ファンドはファミリーファンド方式により、シェールガス関連株マザーファンドへの投資を通じて、実質的な投資を行いません。総合エネルギー型及び分野特化型の企業のなかでシェールガス・ビジネスに特化、もしくは重点を置いている企業を中心に運用します。

【運用プロセス】

- ① 主要国のエネルギー関連企業の中から銘柄を選択します。
 - ② 財務データ、株価指標等を用いて、好業績で割安な銘柄を選別します。
 - ③ 企業が有する「シェールガス」関連技術の評価を考慮します。
- 各国株式市場の市況を分析し、株式の組入比率を機動的に変更します。
 - ・株式組入比率は 100%～60%程度の範囲で調整します。
 - ・株式を組入れない部分の運用は、米ドル建ての好利回り債券等で安定的な収益獲得を目指します。
 - エネルギー価格の動向に合わせて、銘柄ごとの投資配分を機動的に変更します。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

ファンドに係わるリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的には株式など値動きのある有価証券に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。**したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。当ファンドに生じた利益および損失は、すべて投資家の皆様に帰属することになります。**

また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額は、主に以下の要因により、変動することが想定されます。

| | |
|----------------------------|---|
| 株式の価格変動リスク | 当ファンドは、主に株式に投資しますので、基準価額は株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、基準価額が影響を受けて損失を被ることがあります。 |
| 債券の価格変動リスク | 当ファンドは、海外の公社債等に投資することがあります。金利上昇により組入銘柄の価格が低下した場合には、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。 |
| 為替変動リスク | 当ファンドは、主に外貨建ての有価証券に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。 |
| 信用リスク | 株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、基準価額が下がる要因となる可能性があります。 |
| 流動性リスク | 急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式等を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式等の価格の下落により、基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。 |
| カントリーリスク | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。また、新興国市場は一般に先進国の市場に比べて市場規模が小さく流動性が低いことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。 |
| 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク | 解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。 |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

お客様にご負担いただく費用

- ①お申込時に直接ご負担いただく費用
 - 購入時手数料：申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%（税抜3.0%）**を上限として、販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額とします。
 - ②ご解約時に直接ご負担いただく費用
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して**0.3%**
 - ③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - 信託報酬：信託財産の純資産総額に対して**年率1.826%（税抜1.66%）**
 - その他費用：有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等
- ※上記の費用（手数料等）の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。
 ※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

- 1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。
- 2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。
- 4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

課税関係

課税上は株式投資信託として取扱われます。
 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
 ※上記は、2023年11月末現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

委託会社その他関係法人の概要

- 委託会社： 信託財産の運用業務等を行います。
 キャピタル アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者関東財務局長（金商）第383号
 加入協会： 一般社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社： 信託財産の保管・管理業務等を行います。
 三井住友信託銀行株式会社

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
 取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

世界シェールガス株ファンド

追加型投信/内外/資産複合

Capital Asset Management

■販売会社（五十音順）

| 金融商品取引業者名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 日本一般投資顧問業協会 | 金融先物取引業協会 | 第一種金融商品取引業協会 |
|-------------------------------------|---------------------------|---------|-------------|-----------|--------------|
| 株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長（登金） 第633号 | ○ | | | |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) | 登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号 | ○ | | ○ | |
| キャピタル・パートナーズ証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第62号 | ○ | | | ○ |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商） 第24号 | ○ | | | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 明和証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第185号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

【留意事項】

- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。